

2022年(令和4年) 5月21日 土曜日 第1882号

京都自動車新聞



京ト協 軽油高騰で支援要請 6月13日に京整振総会・祝賀会 スズキ自販京都 新入社員向け研修 京車協だより 理事長代行に大嶋氏 ◀京整振 認証PR看板を無償提供

25685

発行所 京都自動車新聞社 京都市伏見区竹田向代町51-5(京都自動車会館内) 電話(075)672-0552 ファクス(075)682-0205 メール access@kyotojidisha-np.jp https://kyotojidisha-np.jp

府下の21年度検査台数

軽は過去最多17万8千台

京都府下の2021年4月から22年3月までの継続検査台数は、50万9944台と2年連続で50万台を上回った。半導体不足や部品の調達難を受けた新車の供給制約に伴う代替の先送りや直接的に作用したとみられる。このうち、軽自動車は17万8301台で過去最多。総台数に占める軽自動車比率も過去最高の34.9%に上り、01年からの20年間で13.1%も伸長、「軽高登低」トレンドがこれまで以上に浮き彫りになった。

2年連続50万台超え 新車供給が影響

種別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
登録自動車	26,945	24,492	30,371	27,456	26,226	29,403	24,792
持込検査台数(B)	7,521	6,506	8,312	7,384	6,711	7,530	6,730
ユーザー車検台数(C)	3,120	2,644	3,196	3,099	2,697	2,954	2,709
ユーザー車検率(C/A)	11.6%	10.8%	10.5%	11.3%	10.3%	10.0%	10.9%
"(C/B)	41.5%	40.6%	38.5%	42.0%	40.2%	39.2%	40.3%
軽自動車	14,281	13,203	15,755	14,187	12,730	15,380	13,933
持込検査台数(B)	4,130	3,879	4,463	3,928	3,479	4,012	3,797
ユーザー車検台数(C)	1,449	1,315	1,465	1,371	1,185	1,360	1,253
ユーザー車検率(C/A)	10.1%	10.0%	9.3%	9.7%	9.3%	8.8%	9.0%
"(C/B)	35.1%	33.9%	32.8%	34.9%	34.1%	33.9%	33.0%
合計	41,226	37,695	46,126	41,643	38,956	44,783	38,725
持込検査台数(B)	11,651	10,385	12,775	11,312	10,190	11,542	10,527
ユーザー車検台数(C)	4,569	3,959	4,661	4,470	3,882	4,314	3,962
ユーザー車検率(C/A)	11.1%	10.5%	10.1%	10.7%	10.0%	9.6%	10.2%
"(C/B)	39.2%	38.1%	36.5%	39.5%	38.1%	37.4%	37.6%

種別	11月	12月	1月	2月	3月	合計
登録自動車	26,537	23,572	24,335	28,943	38,569	331,641
持込検査台数(B)	6,745	6,116	6,074	6,920	9,467	86,016
ユーザー車検台数(C)	2,623	2,367	2,131	2,566	3,268	33,374
ユーザー車検率(C/A)	9.9%	10.0%	8.8%	8.9%	8.5%	10.1%
"(C/B)	38.9%	38.7%	35.1%	37.1%	34.5%	38.8%
軽自動車	15,300	13,512	13,847	15,680	20,493	178,301
持込検査台数(B)	4,111	3,429	3,732	4,127	4,935	48,022
ユーザー車検台数(C)	1,326	1,186	1,253	1,408	1,637	16,208
ユーザー車検率(C/A)	8.7%	8.8%	9.0%	9.0%	8.0%	9.1%
"(C/B)	32.3%	34.6%	33.6%	34.1%	33.2%	33.8%
合計	41,837	37,084	38,182	44,623	59,062	509,942
持込検査台数(B)	10,856	9,545	9,806	11,047	14,402	134,038
ユーザー車検台数(C)	3,949	3,553	3,384	3,974	4,905	49,582
ユーザー車検率(C/A)	9.4%	9.6%	8.9%	8.9%	8.3%	9.7%
"(C/B)	36.4%	37.2%	34.5%	36.0%	34.1%	37.0%

追跡 データベース

京滋の景気、やや停滞

1月 自動車は減少幅再拡大

1月の京滋地区の景気は、これまでの改善トレンドを保ちつつも、わずかながら悪化した。対前月では観光にやや停滞感が見られるとの総合判断。個人消費、設備投資、住宅投資、公共投資、生産、雇用・所得は、売上は改善傾向。自動車

1月の京滋地区の景気は、これまでの改善トレンドを保ちつつも、わずかながら悪化した。対前月では観光にやや停滞感が見られるとの総合判断。個人消費、設備投資、住宅投資、公共投資、生産、雇用・所得は、売上は改善傾向。自動車

関連では、乗用車販売が供給制約のおおりに受け、7カ月連続のマイナスを喫し、減少幅も再び拡大に転じた。観光分野は、京都市内の主要ホテル宿泊客数が183.1%増と大幅に持ち直したものの、公衆衛生上の措置の延長などの影響で足踏み状態にある。

設備投資は、旺盛な製造業の生産能力向上、研究開発、デジタ化、環境関連への

指標	前年比(増率)
主要小売販売額(1月)	5.4%
京都地区の百貨店売上高(1月)	17.9%
スーパー売上高(1月)	±0.0%
家電販売額(1月)	▲0.5%
乗用車新車登録台数(1月)	▲17.4%
京都市主要ホテル宿泊客数(1月)	183.1%
管内短観の設備投資額(21年度)	11.4%
京都府の新設住宅着工戸数(1月)	12.6%
京都府の公共工事請負金額(2月)	▲22.5%
京都府の鉱工業生産指数(12月)	2.8%(前月比)
京都府の有効求人倍率(1月)	0.02(前月比)
京都府の雇用保険被保険者数(1月)	▲0.1%
京都市の消費者物価指数(1月)	0.2%
貸出(1月)	1.1%

部品・デバイスが自動車向けを中心に増。汎用・生産用・業務用機械も改善傾向が続き



岡本氏が黄綬を受章

秋の褒章受賞者が4月29日付で発表され、自動車整備業務の業務精励として、岡本正和氏(71)が黄綬を受章した。

主な略歴は次の通り。

岡本 正和氏(おかもと・まさかず) 1951年1月生まれ。愛知機械工業と渡辺モーターズの整備士を経て、72年に光自動車工業(株)の整備主任として入社後、自動車検査員・工場長・同社吉祥院営業所の整備主任を経て、整備主任を兼任し、ロードマネージャーとして現在に至っている。

昨年度の検査台数は、11年度以来最多を記録した前年同期比で1.6%減。19年度対比では7.3%増だった。検査対象台数の少ないいわゆる「裏年」サイクルに昨年半ばから移行したことを踏まえると、新車などへの代替を見送った一定の受検数が、絶対数の減少分を埋めたと考えるのが妥当だろう。

月別で見ると、4月が11.2%、5月が8%、8月が11.6%、10月が14.6%、11月が2.9%それぞれ前年より増。それ以外の月では最大で18%減少に振れた。

ただ、軽自動車合計は10月、1月、3月を除く月次で前年を上回った。逆に、登録自動車は多くの月間実績で前年に届かなかった。

持ち込み検査数は13万4038台で0.1%プラス。指定整備は37万5904台で2.3%マイナスだった。持ち込み、指定いずれも、登録車が増加し、軽自動車が増加した。ユーザー車検台数は登録・軽共に減少し、全体に占めるユーザー車の割合は、ほぼ横ばいながら前年よりも下振幅を広げた。

カテゴリ別では、登録車

が33万1641台と前年比で3.7%減、19年度比で5.1%増。軽自動車は前年比2.2%、19年度比で11.6%それぞれ伸ばした。

新車の流通が正常化する兆しはまだ見えず、「今期中の回復は絶望的」(関係筋)との見方も根強い。これに加え、今年中ごろには検査台数の増える「表年」に突入する。当面は車検台数の増加傾向が続くとみられ、平均使用年数の長期化が懸念されるところだ。

(表)昨年度の登録自動車・軽自動車継続検査台数とユーザー車検台数

G-SCAN

● G-SCAN Z (ジースキャン ゼット)

コンパクトな有線タイプ

OS: Android 9
液晶: 8インチ

ジースキャンに新モデル登場!

● G-SCAN Z Tab (ジースキャン ゼットタブ)

有線/無線で通信が可能!

OS: Windows 10
液晶: 10.5インチ

株式会社大黒商会

本社: 京都市右京区西院平町10番地 TEL: 075-311-0141 FAX: 075-312-4544

営業所: 京都・南・亀岡・奈良・彦根・舞鶴・福知山・福井・小松・金沢

担当: 営業推進課 前田